(様式第3号)

企業•団体名 (一般社団法人長野県警備業協会

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30変更】

項	カ テ ゴ チェック項目			T			主	なSDGs (1	7ゴー.	ルと1	69ター	ゲット)	関連項	目
項 目 番	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1 2	3 4		7	8	9 10			14 15 16 17
番号	J	レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	1 00. 2 10	3 00000 -40/A	i ę į) engage	12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	#####################################	AM CO	™	*
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用 条件で差別をしない企業理念が確立されるよう、協会 が積極的な働き掛けを行っている。(研修の実施、相 談窓口の設置)			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8				16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			パワハラ、セクハラ、カスハラなどの対応マニュアルを 加盟会員に周知している。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8				16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画に基づき、長時間労働の是正を推し進めている。					8.5 8.8				
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・業界として特定技能制度・教育就労制度への参入を 目指し、加盟各社において外国人労働者への適切な 処遇や労働環境の整備を行っている。		4.	4		8.7 8.8	10.2 10.3			
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・協会に労務労災委員会を設置し、労働災害ゼロに向けて取り組んでいる。 ・事故速報をホームページに掲載し、周知徹底を図っている。		3			8				
6	権・・ 【メンタルヘルス】 労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			・加盟各社で職場のメンタルヘルス対策を実施している。 ・安全衛生大会においてメンタルヘルスを掲げた大会 宣言を採択している。		3							
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・多様な人材が働きやすいように、発注者とも協議して 労働環境の整備を行っている。 ・女性警備員の採用者数増加、定着率向上に取り組 んでいる。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3			
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			・検定取得のための特別講習や指導教育責任者取得のための講習会を開催している。 ・教育のデジタル化により質の高い教育の提供に取り組んでいる。		4	5.5		8	9			
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・警備業経営者のための倫理要綱を策定し、全ての労働関係法令を遵守して安全で快適な職場環境を保持に取り組んでいる。			5.5		8.5	10.2 10.3			
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・協会けんぽ長野支部に「健康企業宣言」を行っている。		3			8				
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・警備業においては廃棄物等の排出は僅かであるところ、加盟各社において更なる削減に取り組んでいる。							11.6 12	1	4.1
_	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・加盟各社において排出量を把握した上で、事務所の 省エネ化と自動車のアイドリングストップに取り組んでい る。				7.3				13	
13	境 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・加盟各社において算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している。				7.2 7.3			12.4	13.3	
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本	【非該当】		・警備業においては保有・使用はない。		3.9	6.3				11.6 12.4		

項	カ					= 41.41.4. m. An	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16											
直	カテゴ	チェック項目		【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1 :			6	7	8	9 10	11 12			15 16	i 17
項目番号	コリ	7 - 7 7 7 1	レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	194 5/64/8	s arrest —W	4557 M i ©	₽ 2020,000) ii	iii	10:000m 	ALL CO	B ::::T.	Matter FO	15 %(1") 18 722	V saint ∰
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			・環境に配慮した警備業務の提供を通じて生物多様性保全 に取り組んでいる。 ・デジタル化による紙資源の削減に取り組んでいる。				6.6							15	
16	; -	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			・警備現場において、ゴミの削減、繰り返しの使用、資源として再利用に取り組んでいる。								13		14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)							6.4 6.6								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)					3.9		6	7			12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)											12.6	5			
20)	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・交通誘導の現場においては、信号機などの電力について太陽光パネルの利用やグリーン電力の使用に努めている。					7.2				13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)											12.2	2 13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・警備業経営者のための倫理要綱を策定し、法令遵守 に取り組んでいる。											16 16.	
23		【公正な競争】・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・令和7年度事業計画に警備業務の適正な推進を掲げ、総会において加盟各社に周知している。											16	i
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			・加盟各社において特許、商標等知的財産権の取得・管理 を徹底している。					8	3.2 3.3	9					
25	な	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・加盟各社において、顧客情報の管理や個人情報の取扱いに関する規程を整備している。 ・協会事務局では個人情報の管理を徹底している。											16	i
26	慣	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)														16	i
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライチェーン管理】 の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・発注者との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っている。 ・発注者に「警備業における適切な価格転嫁の実現に向けて」と題するパンフレットを配布し、倫理面で認識を共有している。			5			8	10	12	13	14	15 16	6 17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)			・加盟各社に対して、会報により「パートナーシップ構築 宣言」の積極的な参加を呼び掛けるとともに、作成用の 雛形を提供し促進を図っている。 ・加盟各社において、「パートナーシップ構築宣言」を ホームページで公表している		3				8	9 10					17

項		チェック項目		【非該当】 の場合	【予定】の				主な	SDGs	(17ゴ-	ールと	169ター	ゲッ	h) [関連項	目			
自			取組			具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2 3										16 17		
項目番号		アエック 模口	レベル	選択入力	場合 選択入力	(果などの収得膨脹があれば、好をで配載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	184 8444	2 2". 3 5765 	4 552.5°	5 km²** 8	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	M	9 #350° 10:050° 	timer Jal	E 7/11	8:01. ⊘	15 011**	18 TO MART		
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)			・県内4地区において、警備現場への安全パロールを 実施し安全性の点検をしている。		3.9					34.	N228	12.4					
30	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)			・加盟各社において、警備業法に定められた時間の警備員教育を実施しサービス向上を図っている。 ・警備員の検定制度により、警備員の資質および技能の向上を行っている。							9							
	ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								6				12	13 14	4 15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社会問題となっている深刻化する人手不足に対し、 警備業務のAI化、DX化に取り組んでいる。	1	2 3	4	5	6 7	8	9 10	11	12	13 14	4 15	16 17		
33	-	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)			・交通誘導においては、地域の社会生活への影響を最 小限にしている。			4				9	11	12	14	4 15	17		
地 ³⁴ 頁 献	社会貢献.	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・県内3地区に防犯協力会を設立し、警察と連携した 社会貢献活動に取り組んでいる。			4					11		14	4 15	17		
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)									8	9	11	12	13				
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)			・警備業経営者のための倫理要綱を策定し周知している。 ・警備業における適正取引推進等に向けた自主行動 計画を周知している。						8	9					17		
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・・令和7年度事業計画により、法令遵守を周知している。 ・・経営者研修会・幹部研修会において浸透を図っている。												16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本(必須)			・加盟各社において専門部署の設置をしている。 ・業界全体では当協会がその役割を果たしている。												16		
		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼ す影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本(必須)			・加盟各社が適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている												16 17		
	制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)															16		
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組ん でいる	チャレンジ (任意)															16		
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)										9	11		13 13.1		16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)									8	9					17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5 6	7 8	9	10	11 12	13 1	4 15	16 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登 録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくり エクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制 度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- O 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<mark>赤字</mark>で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定